

## 新しい時代の学校施設検討部会における検討経緯等

## 1. これまでの検討経緯

- 1月27日** **協力者会議（第10回）**  
○検討部会の設置について
- 2月15日** **新しい時代の学校施設検討部会（第1回）**  
○委員発表・ヒアリング  
・「新しい学び」について（天笠委員）  
・ICT活用の観点から見た新たな学びの姿と教室環境（野中委員）  
・つくば市・みどりの学園の先進的ICT教育（毛利委員）  
○「主な検討事項及び論点」について議論  
・新しい時代の学びの姿、それらの学びを実現するための学校施設の姿等
- 3月25日** **協力者会議（第11回）**  
○検討部会の検討状況報告、「主な検討事項及び論点」について議論
- 4月20日** **新しい時代の学校施設検討部会（第2回）**  
○委員等発表・ヒアリング  
・さまざまな能力を身に付けるための多様な学習スタイル（毛利委員）  
・備前市におけるICT機器の活用状況（備前市教育委員会）  
・これからの「学び」をささえる環境（倉斗委員）  
○「主な検討事項及び論点」について議論  
・ポストコロナ時代における学校施設の意義、空間に集まり学ぶことの価値  
・個別最適な学びと協働的な学びを実現する施設環境の整備  
・多様な学習活動に対応する施設環境の整備 等
- 5月21日** **新しい時代の学校施設検討部会（第3回）**  
○委員等発表・ヒアリング  
・新しい時代の学校施設（赤松委員）  
・学校施設のカーボンニュートラル対応（伊香賀 慶應義塾大学教授）  
・未来に向けた既存学校施設の長寿命化（長澤部会長）  
○「主な検討事項及び論点」について議論  
・既存施設の長寿命化改修に合わせた機能改善  
・地域の拠点として、多様な学びを生み出す施設環境  
・カーボンニュートラルの実現を目指した施設の整備 等

5月27日 新しき時代の学校施設検討部会 オンライン学校施設視察  
～6月1日 ○計9校、教育内容及び施設概要の説明・意見交換（各校30分程度）  
6月2日

- ・ドルトン東京学園中等部・高等部（特色ある教育に対応した施設環境）
- ・立命館小学校（ICT活用の先進的な取組；コミュニケーションルーム等）
- ・富山県滑川市立西部小学校（改修＋一部増築による多様な学びへの対応）
- ・学校法人茂来学園大日向小学校（特色ある教育に対応した施設環境；廃校利用）
- ・福島県矢吹町立矢吹小学校（長寿命化改修による多様な学びへの対応）
- ・広島県立広島叡智学園中学校・高等学校（様々な授業スタイルの対応した学習空間）
- ・同志社小学校（学校施設全体を学びの場として活用）
- ・京都教育大学附属桃山小学校（ICT活用の先進的な取組；家具の工夫等）
- ・富山県魚津市立星の杜小学校（木造3階建校舎等）

6月8日 新しき時代の学校施設検討部会（第4回）  
○委員等発表・ヒアリング  
・教室・学習空間の計画について（伊藤委員）  
・人口動態等を踏まえた学校運営や学校施設等の在り方  
（望月 株式会社ファインコラボレート研究所代表取締役）

○オンライン学校施設視察報告

- 「主な検討事項及び論点」、中間報告（骨子案）について議論
- ・新しき時代の学びを実現するための学校施設の在り方
  - ・人口動態等を踏まえた学校運営や学校施設等の在り方 等

6月22日 新しき時代の学校施設検討部会（第5回）  
○中間報告（素案）について議論  
・新しき時代の学びを実現するための学校施設の在り方、推進方策

7月7日 新しき時代の学校施設検討部会（第6回）  
○中間報告（案）について議論  
・新しき時代の学びを実現するための学校施設の在り方、推進方策

7月16日 協力者会議（第12回）  
○検討部会の検討状況報告、検討部会の中間報告（案）について議論



「新しき時代の学びを実現する学校施設の在り方について」中間報告をとりまとめ

## 2. 今後の予定

9月以降、2か月に1回程度部会を開催、適時協力者会議に報告・審議

○継続的な検討事項（案）

- ・学校施設のスタンダード案
- ・学校施設整備の優先度の考え方の整理
- ・長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に整備する事例の収集・分析、及びそれを踏まえた適切な財政支援制度の在り方
- ・学校施設整備・活用推進のためのプラットフォームの仕組み
- ・先導的モデルのフォローアップとそれを通じた学校施設モデル案の検討
- ・学校施設整備指針の改訂案



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告をとりまとめ

## 主な検討事項及び論点

一人一台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、新しい時代の学校施設の在り方と推進方策を提言する。

## 【検討事項及び論点】

○前提として、新しい時代の学びの姿をどう捉えるか。また、それらの学びを実現するための学校の姿をどう捉えるか。

(キーワード)

- ・新学習指導要領の着実な実施（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等）
- ・個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・少人数による指導体制の整備
- ・ICTの活用や、教師による対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリット化による指導
- ・地域社会や関係機関等との連携・協働
- ・インクルーシブ教育システムの構築

○新しい時代の学びを実現するための学校施設はどうあるべきか。

- ◆ポストコロナ時代における学校施設の意義、空間に集まり学ぶことの価値
- ◆少人数による指導体制への対応を含む個別最適な学びと協働的な学びを実現する施設環境の整備

(例)

- ・1人1台端末や遠隔・オンライン教育に適合した普通教室の環境整備（教室サイズ、教室用家具、設備等を含む）
- ・学校図書館等の環境整備など、既存の学校資源の活用促進

- ・教職員のための ICT 環境の整備や作業空間の充実 等

◆多様な学習活動に対応する施設環境の整備

(例)

- ・普通教室を含めた学習環境の整備（オープンスペース、多目的スペース など）
- ・STEAM 教育など教科等横断的学習に対応した特別教室
- ・多様な児童生徒に対応した学習空間（個別学習スペース、カウンセリングルーム等）
- ・校舎、体育館、屋外環境など学校施設全体を学習空間と捉えた環境整備 等

◆新しい生活様式を踏まえ、健やかに学習・生活できる環境の整備

(例)

- ・豊かな心と健やかな体を育む、健康的でゆとりと潤いのある施設環境
- ・空調整備やトイレ改修、バリアフリー化などの環境整備 等

◆人口動態等を踏まえた効率的・効果的な施設環境の整備

(例)

- ・既存施設の長寿命化改修に合わせた機能改善
- ・地域の拠点として、他の公共施設との複合化や共用化等により、多様な学びを生み出す施設環境（分野を横断した議論、調整）
- ・PPP/PFI など多様な整備手法の導入・活用の促進 等

◆安全・安心な教育環境の確保など、基盤的な整備

(例)

- ・防災・減災、国土強靱化の推進（災害・事故等から子供たちの生命を守る）
- ・カーボンニュートラルの実現を目指した施設の整備 等

○学校施設を巡る現状はどのような状況か。目指すべき姿に対し、どのような課題を克服していかなければならないか。

- ・時間軸（短期的、中期的、長期的）を視野に入れた整理の必要性

○新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を推進するために、どのような方策を講じるか。